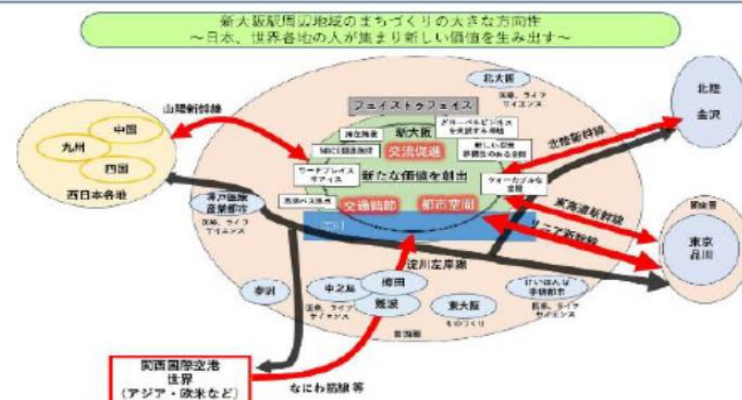


【資料 4-1】新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会会議の検討

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会【第5回新大阪駅東口まちづくり部会】資料より

新型コロナ危機を契機とした社会変化への対応の必要性

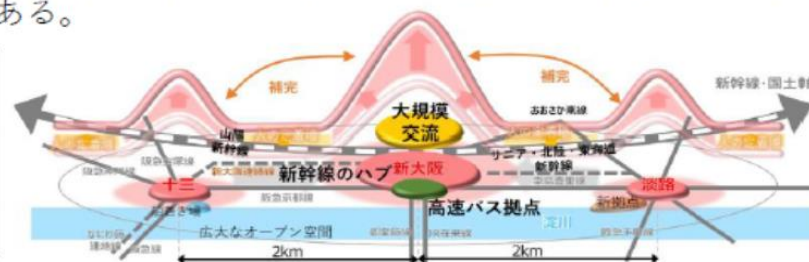
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「三つの密」の回避、不要不急の外出の自粛、イベントの開催制限等が行われ、在宅勤務・テレワークが進んだ。オンラインの社会への普及が加速され、移動しなくともできることが増え、都市の拠点においては、人の過密に対する内在リスクが顕在化してきている。
- ・ こうした点を踏まえて、フェイストゥフェイスをキーワードとして広域の人を集めるといふ、これまでの新大阪駅周辺地域のまちづくりの方向性について、整理する必要がある。



3つのエリアの役割分担による都市機能の集積イメージ

- ・ 新大阪エリアの交流促進・交通結節・都市空間の3つの機能の質と量を高めることが重要であり、十三・淡路のサブ拠点化にも大きな効果をもたらすため、駅とまちが一体となって、官民連携して、駅からまちへ人を惹き出し、まちから駅へ人を惹きつけ、まちとしての総合的な魅力を高めることが重要である。

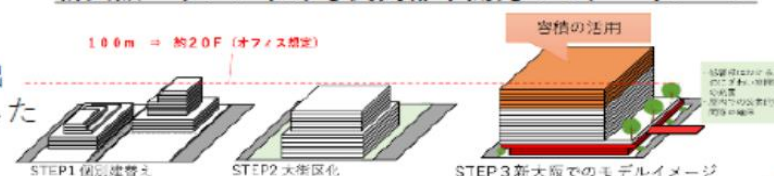
	十三エリア サブ拠点	新大阪エリア メイン拠点	淡路エリア サブ拠点
交通結節機能	・新大阪駅へつなぐサブのハブ機能	・広域交通の交通結節施設（高速バス拠点等含む） ・駅周辺をまちをつなぐ	・新大阪駅へつなぐサブのハブ機能
交流促進機能	・新大阪を補完するオフィス・宿泊機能 ・商店街などのにぎわい	・大規模交流施設 ・企業の本社・支店・サードプレイスオフィス ・ハイグレードな宿泊機能 ・歩行者動線沿いの交流空間（商業・文化）	・新大阪を補完するオフィス・宿泊機能 ・商店街などのにぎわい
都市空間機能	・なつかしさや美観の空間 ・淀川の自然を造った空間形成 （河川敷、船着き場） など	・新大阪駅からまちへの演出（光・水・緑） ・遊歩したウォークアブルな空間 ・屋内オープンスペース など	・阪急高層下と大規模開発用地における 新拠点の賑わいやゆとり



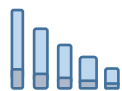
民間都市開発へ期待する主な内容

- ・ 大街区化なども含めた一定のまとまりをもった高機能な都市開発
- ・ 低層部における人のにぎわい、うるおい空間の充実と、独自性の創出
- ・ 屋内の公共的空間、ピロティ空間などによる風雨、猛暑などに対応した人にやさしい空間づくり

新大阪エリアにおける民間都市開発のモデルイメージ



【令和3年8月19日 第5回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会会議資料より】



【資料 4-2】 新大阪駅東口のまちづくり検討範囲と周辺地域への波及

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会【第5回新大阪駅東口まちづくり部会】資料より

